



家政学部生活福祉学科 准教授
原 田 由美子

原田由美子准教授 略歴および主要著作

平成13年4月	立命館大学大学院社会学研究科博士課程前期課程入学
平成15年3月	立命館大学大学院社会学研究科博士課程前期課程修了(社会学修士)
平成56年4月	(福)倉敷福祉事業会 いづみ乙島保育園(昭和57年3月31日まで)
平成57年4月	(福)倉敷福祉事業会 連島東保育園(昭和63年3月31日まで)
平成元年4月	倉敷市役所(平成11年3月31日まで)
平成11年4月	倉敷市総合福祉事業団(平成13年1月31日まで)
平成13年4月	川崎医療短期大学介護福祉科専任講師(審査年月平成12年12月)(平成15年3月31日まで)
平成15年4月	梅花女子大学現代人間学部人間福祉学科専任講師(審査年月平成14年12月)
平成17年4月	奈良女子大学生生活環境学部 非常勤講師「高齢者福祉学」(平成18年3月まで)
平成18年4月	奈良大学社会学部 非常勤講師「社会福祉論」(平成20年3月まで)
平成19年4月	梅花女子大学現代人間学部人間福祉学科 准教授(学内審査平成19年3月)(現在に至る)
平成19年4月	帝塚山大学心理福祉学科非常勤講師「老人福祉論Ⅰ」「老人福祉論Ⅱ」(平成20年3月まで)
平成20年4月	京都女子大学家政学部生活福祉学科非常勤講師「介護技術Ⅱ」(平成20年9月まで)
平成21年4月	京都女子大学家政学部生活福祉学科 准教授(現在に至る)

社会における活動

中国四国介護福祉研究会理事
 茨木市都市計画審議会委員
 茨木市建設事業評価委員会委員
 大阪市老人福祉センター指定管理予定者選定委員会委員
 大阪市老人福祉センター評価委員会委員
 枚方市指定管理者選定委員会委員
 枚方市介護保険施設等整備検討協議会委員
 特定非営利活動法人すまい・まちづくり支援機構理事
 特定非営利活動法人ふるさと倉敷理事長

著書，学術論文等の名称	単著共著の別	発行又は発表年月	発行所，発表雑誌等又は発表学会等の名称	概 要
(著書) 『高齢者ケアの設計』	共	平成9年4月	中央法規出版	ゴールドプラン策定以後，市町村においては福祉サービスの充実が計画的に進められるようになった。こうした状況の中，在宅福祉の3本柱に位置付けられたホームヘルプ制度の問題や課題に関する研究。P181-207 山本隆・渡辺文子編 黒澤貞夫・仕方克尚・武田宏・ <u>原田由美子</u> 他6人
『ホームヘルプの公的責任を考える』	共	平成10年6月	あけび書房	社会福祉サービスにおける供給主体の多元化，労働主体の多様化の流れのなか，倉敷市を事例として行政の公的責任に基づく在宅福祉政策の現状と課題を明かにし，併せて公的ホームヘルパー制度の変遷，現状，課題に関する研究。P117-137 河合克義・小野寿彦・小川栄二・ <u>原田由美子</u> 他4人
『現代社会福祉の諸問題』	共	平成15年5月	晃洋書房	社会福祉基礎構造改革の第一歩としての介護保険制度下におけるホームヘルプ制度の現状について，準市場におけるホームヘルプ制度及びホームヘルプ労働過程の変容の実態と問題点に関する研究。P266-282 坂本忠次・松久保博章・山本隆・斉藤香里・張忠任・塩津ゆりか・ <u>原田由美子</u> 他7名
『介護保険時代の介護福祉研究』	共	平成15年11月	大学教育出版	本稿では，知的障害者であり，かつ精神障害者の若い夫婦の子育て支援の過程で虐待が発覚し，被虐待児及びその家族への支援のあり方についての研究。P96-P100 住居広士・樋口美智子・谷口泰司・國定美香・徳山ちえみ・ <u>原田由美子</u> 他10名
『超高齢社会における高齢者介護支援』	編著	平成27年12月 出版予定	関西学院大学出版会 建帛社	超高齢者社会の地域，施設，病院における介護支援について論じている。「高齢者の在宅介護の現状と課題」では，地域で安心して老いることの困難と課題を論じている。P21-P33
『地域包括ケアにおけるホームヘルパーの役割』	単	平成27年4月 出版予定	大学教育出版会	在宅ケアにおけるホームヘルパーの役割について，歴史を振り返るとともに，措置制度当時の自治体に対する調査と分析，高齢，低所得，単身をキーワードとする高齢者ケアの実情と課題について論じた。220頁＋資料
(教科書等) 『生活支援技術Ⅱ』	共	平成21年3月	建帛社	第1章第4節人間関係形成への配慮 人間関係形成の技術について執筆 山岡喜美子・ <u>原田由美子</u> 他16名 P14-18
『高齢者に対する支援と介護保険制度』	共	平成21年10月	久美出版	第2章 第2節 介護の理念 介護の理念について執筆 金子努・住居広士・ <u>原田由美子</u> 他12名 P56-62
『コミュニケーション技術／生活支援技術Ⅰ・Ⅱ』	共	平成26年3月	日本介護福祉士養成校協会編	第2章第3節移動の支援技術，第3節食事の支援技術 P61-109

著書，学術論文等の名称	単著共著の別	発行又は発表年月	発行所，発表雑誌等又は発表学会等の名称	概 要
(学術論文) ホームヘルプ事業はどう なっているか	単	平成 9 年 7 月	『賃金と社会保 障』 第 1158 号 労働旬報社	老人保健福祉計画から新ゴールドプランにおけるマンパ ワー政策の変化について全国の自治体を対象にアンケート 調査を実施。これらを基に在宅 3 本柱の中心であるホーム ヘルパーの職務内容や身分労働条件及びホームヘルパー確 保策，基盤整備における自治体の役割，責任についての考 察。P24-39
虚弱な高齢者への援助を通 してホームヘルプ業務のあ り方を問う	単	平成 9 年 6 月	『介護福祉研究』 Vol.5 No.1 岡山県介護福祉 研究会，中国四 国介護福祉学 会，日本ケア ワーク研究会	在宅福祉サービスの中核として位置づけられているホーム ヘルプ事業の援助実践の実態から，ホームヘルパーに求め られる職務遂行能力について事例研究及び文献研究から考 察した。P13-19
ホームヘルプサービスにお ける家事援助中心業務と相 談・助言とは	単	平成 9 年 10 月	『介護福祉研究』 Vol.5 No.2 岡山県介護福祉 研究会，中国四 国介護福祉学 会，日本ケア ワーク研究会	身体介護優先への見直しに対し，ホームヘルプサービスに おける家事援助，相談助言の有効性を事例研究と文献研究 によって検証した。
公的介護保険導入後に予想 される課題と今後の対応	単	平成 12 年 9 月	『介護福祉研究』 Vol.8 No.2 岡山県介護福祉 研究会，中国四 国介護福祉学 会，日本ケア ワーク研究会	介護保険制度導入に伴う在宅介護政策の変化により，厚生 労働省の公開データにより，今後予測される諸問題とその 対応策について訪問介護を中心に考察した。P63-66
ホームレス支援と介護問題	単	平成 17 年 6 月	『介護福祉研究』 Vol.13 No.1 岡山県介護福祉 研究会，中国四 国介護福祉学 会，日本ケア ワーク研究会	ホームレス自立支援法に基づく全国調査から明かになった 高齢化するホームレスの実態に着目し，社会的入院か死か の選択しかない高齢要介護状態のホームレスの現状と改善 策について研究した。 P65-68
ホームヘルプサービスの援 助内容と援助課程（労働過 程）の変容に関する一考察	単	平成 18 年 6 月	『介護福祉研究』 Vol.14 No.1 岡山県介護福祉 研究会，中国四 国介護福祉学 会，日本ケア ワーク研究会	介護保険制度における介護サービスに対する市場原理の導 入は，コストパフォーマンスの良い経営戦略の一環として， 介護現場における労働組織の階層化をもたらした。一方， 介護報酬という価格の設定により，事業経営上，サービス 提供の効率化を図るべく，援助内容の細分化を加速させて いる。P1～4

著書、学術論文等の名称	単著共著の別	発行又は発表年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概 要
介護保険制度におけるホームヘルパーの裁量権に関する研究	共	平成 20 年 10 月	『介護福祉学』Vol.15-2 日本介護福祉学会	介護保険制度上では、ホームヘルパーは実働のみ要求され、利用者との相互行為による援助実践ができない仕組みになっている。しかし、心身の状況が変化しやすい高齢者等を対象とする場合は、臨機応変な対応が必要である。研究の結果、ホームヘルパーの仕事における裁量権の担保が、利用者との相互行為としての援助実践、自律を支援する援助を可能にすることが示唆された。P161-171
元路上生活者が地域で生活するために必要な支援に関する研究—中間施設入所者の生活力等に関する調査から—	共	平成 22 年 2 月	京都女子大学生 生活福祉学科紀要 第 6 号	都市の路上生活者や触法障害者等、身寄りのない低所得高齢者が入居している第二種社会福祉施設である無料低額宿泊所や無届施設等の中間施設の入居者を対象に統制観察法による調査を行い、地域に包摂されて生活するうえで必要な支援について検討した。原田由美子・井上千津子 P33-42
低所得の単身要援護高齢者への生活支援を考える—無料低額宿泊所等の入所者の調査結果の単純集計を元に—	共	平成 24 年 3 月	『介護福祉研究』Vol.17 No.1 岡山県介護福祉研究会、中国四国介護福祉学会、日本ケアワーク研究会	都市の路上生活者や触法障害者等、身寄りのない低所得高齢者が入居している第二種社会福祉施設である無料低額宿泊所や無届施設等の中間施設の入居者を対象の超麻から地域に包摂されて生活するうえで必要な支援について検討した。原田由美子・國定美香・山岡喜美子・三原博光 P12-17
サービス提供責任者から見たチーム活動を困難にする要因	共	平成 24 年 8 月	『介護福祉士』No.18 日本介護福祉士会	在宅高齢者に対する訪問看護・訪問介護・居宅介護支援のチーム活動に関するアンケート調査におけるサービス提供責任者の自由記述結果から、活動を困難にする要因について研究を行った。原田由美子・綾部貴子 P53-58
訪問介護事業所のサービス提供責任者による訪問看護職や介護支援専門員とのチーム活動の実践度の構造	共	平成 24 年 8 月	『介護福祉士』No.18 日本介護福祉士会	在宅高齢者に対する訪問看護・訪問介護・居宅介護支援のチーム活動に関する研究における訪問介護事業所のサービス提供責任者の実践度の構造に関する研究。綾部貴子・原田由美子 P66-72
低所得の独り暮らし要援護高齢者が都市部の地域社会で生活するために必要な支援とは	共	平成 27 年 3 月 掲載予定	『介護福祉研究』Vol.15 No.1 岡山県介護福祉研究会、中国四国介護福祉学会、日本ケアワーク研究会	都市部の低所得の単身高齢者が必要とする支援に関する研究—質的調査による結果分析により、生活支援、相談助言、互助システム構築の支援が求められていること論じた。